

喫煙マナーポスター& 標語を展示しました

市内在住・在学の小中学生を対象として「たばこについてのめいわく」をテーマにポスターと標語を募集しました。子どもたちの目から見た大人のマナーについてポスター67作品、標語10点の作品が寄せられました。

応募いただいた全作品は、9月14日から9月20日と、9月30日から10月5日の2回にわたり文化会館たづくり11階みんなのひろばで展示しました。来場者には、どの作品がよかったかを投票いただき、入賞作品と特別賞作品を決定し、また、票の多かった作品については、10月6日

から31日まで総合福祉センターのウィンドウで展示しています。

この入賞作品と特別賞作品の中からポスターや啓発品に使用するデザインを選び、11月に実施する喫煙マナーアップキャンペーンで広く活用させていただきます。



調布市いきものフォトコンテスト2011 ～感じよう！生物多様性～ 作品募集

調布市では、市内の自然環境の再発見とともに生物多様性への理解を深める目的で、「調布市いきものフォトコンテスト2011」を開催しています。市内に生息する野生生物を主体として撮影した写真を募集し、応募作品を調布市多摩川自然情報館

で展示します。

また、応募作品の撮影地点より、2011年調布市いきもの分布情報図を作成し、市内の自然環境が持つ生物の多様性について入賞作品とともに調布市多摩川自然情報館で展示します。

募集作品

多摩川部門と市内部門の2部門を募集

【多摩川部門】

調布市内の多摩川に生息する野生生物を主体とした写真（植物、鳥、昆虫、魚など）

【市内部門】

調布市内の多摩川以外に生息する野生生物を主体とした写真（植物、鳥、昆虫、魚など）

○応募条件

各部門とも、平成23年1月以降に応募者本人によって撮影された写真で、未発表かつ応募者に全ての権利（著作権）があるもの（1人2点まで）

○規格

・A4 サイズまたは6切サイズ。カラー、モノクロいずれも可

※電子データ（2 MB まで）をご持参いただければ多摩川自然情報館で土・日、祝日に印刷可能です。

○表彰内容

- ・最優秀賞（各部門1名）
調布市ふれあい商品券5,000円分、賞状を贈呈
 - ・優秀賞（各部門2名）
調布市ふれあい商品券1,000円分、賞状を贈呈
 - ・入賞（各部門3名）
調布市ふれあい商品券500円分、賞状を贈呈
- ※平成23年12月11日（日）～平成24年2月25日（土）まで応募作品を多摩川自然情報館内に展示し、来館者に入賞作品を決める投票をしていただきます（応募された作品が募集作品の要件を満たしていない場合は審査対象外）。

○募集期間

11月30日（水）まで（必着）
※郵送、持参、Eメールでご応募ください。

※応募方法や作品の取り扱いなど、そのほかの詳細は、市のホームページまたは、環境政策課、多摩川自然情報館で配布している募集要項（応募票つき）をご確認ください。

ちょうふ環境にゆ〜す



未来へつなぐ調布の環境

- 発行：調布市環境部環境政策課
- 連絡先：電話：042-481-7086（直通） F A X：042-481-7550
メールアドレス：kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています（トップページ左下からリンクしています）。

2011年10月
第10号

刊行物登録番号
2011-133

多摩川自然情報館まつり2011

昨年につづき、多摩川自然情報館まつりを開催します。子どもから大人まで楽しめるイベントです。どなたでも気軽にお越しください。



住所：調布市染地3-8-26（旧あゆみ学園）
交通：調布駅南口4番乗り場から 調41系統 多摩川住宅西行き「日活撮影所」下車 徒歩約7分
お車でのご来館はご遠慮ください。自転車駐輪場はあります。

日時：平成23年10月22日（土）午前10時～午後3時 ※雨天決行

あそびの広場 ※午前11時～当日先着50人

- ★ボーリング [1階作業室]
- ★ゴム金魚すくい ★手さぐりくじ
- ★動物バルーンアート

ゲーム・クラフトコーナー

- ★多摩川いきもの輪投げ（景品あり） [大集会室]
- ★メッセージ入りアロマ入浴剤作り [50円]
- ★秋の多摩川の押し花で小物作り [30～100円]（ハガキ、しおり、フォトスタンド）
- ★多摩川の魚ぬりえ

染地婦人会によるバザー

衣類・雑貨・焼きそば・秘伝のおでん・フランクフルトなどの販売

木島平村のアンテナショップ 新鮮屋

リンゴ、キノコなどの販売 [前庭]

【うさぎの飼育体験】

時間/午前11時～ [1階活動室]
対象/小学生以上 当日抽選10人

【いきものプールの生物観察】

【クイズラリー（景品あり）】 [展示室]

【わかば事業所（障害福祉施設）活動展示】

昆虫・魚など

みんな
あそびに来てね!



◎主催：調布市
◎協力：染地婦人会、特定非営利活動法人わかばの会わかば事業所、一般社団法人生物多様性保全協会、姉妹都市木島平村のアンテナショップ「新鮮屋」

雑木林塾の活動

市では、昭和30年ごろまで生活と農業に深くかかわってきた里山の雑木林の現状を知り、市内に残る樹木の維持管理に役立つ知識と技能を身につけることを目的に毎年、雑木林塾を実施しています。今年度は、5月に塾生を募集し17人の会員でスタートしました。

なお、この雑木林塾は、ちょうふ環境市民会議のメンバーが企画・運営しています。

第3回「雑木林の作業に必要な安全管理と技術」

第3回目の講座は、7月24日に開催され、雑木林の作業に必要な安全管理と技術について学習しました。

午前中は、佐須ふれあいの家で、雑木林の作業における安全管理についての講座を行いました。

午後は、カニ山（深大寺自然広場）で樹木の伐

木の方法、笹狩り等の実習を行い、道具の手入れ等の安全管理作業についても学びました。



第3回活動の様子

第4回「雑木林はどう育て維持されてきたか」

第4回目の講座は、9月18日に開催され、「雑木林はどう育て維持されてきたか」をテーマに、雑木林の管理方法と植生について学習しました。

午前中は、入間地域福祉センターで座学による講座を行いました。

午後は、入間1丁目緑地や若葉町第3緑地で、

実際に雑木林の観察活動を行いました。特に入間1丁目緑地では、植生調査の実習を行い、専門的な調査方法についても学習しました。



第4回活動の様子

調布こどもエコクラブの活動

市では、市内の小中学生を対象に毎年4月に調布こどもエコクラブの会員を募集しています。今年度は32人の子どもたちが会員となり、活動をスタートしました。

第3回 昆虫しらべ

今年度3回目の活動は、9月10日に、多摩川河川敷での昆虫調べを、19人のメンバーと3人のサポーター参加のもとで行いました。

当日は、多摩川自然情報館1階にある、染地ふれあいの家に集合し、昨年オープンした多摩川自然情報館について、同館スタッフにより説明し、実際に施設見学も行いました。



第3回「昆虫しらべ」

○観察できた昆虫等

- ・甲虫：アオドウガネ、ナミテントウ、フタモンテントウ、コクワガタ等
- ・トンボ：ウスバキトンボ、シオカラトンボ、ミヤマアカネ
- ・バッタ：クルマバッタ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、ヒナバッタ、トノサマバッタ、ツユムシ、カワラバッタ、オナガササキリ等
- ・チョウ：キタキチョウ、キタテハ、ナミアゲハ、ベニシジミ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ等
- ・ガ：ワモンノメイガ
- ・その他：ホソハリカメムシ、ホオズキカメムシ、オオカマキリ等

その後、講師により昆虫の特徴や昆虫の採りかたなどについて、説明を受けました。

室内での講義終了後、全員で多摩川河川敷に移動し、昆虫採集を行いました。残暑厳しい中でしたが、みんな一生懸命に昆虫を探し、バッタの仲間を中心に様々な昆虫が観察できました。

調布水辺の楽校の活動

8月20日、今年度2回目となる調布水辺の楽校の活動が行われました。

当初、「アドベンチャー in 多摩川 2011」として多摩川河川敷での生きものの観察や川流れ体験を行う予定でしたが、前々日からの大雨による増水の影響があったため、当日は、富士見台小学校での実施に変更し、流域7小学校の児童と保護者20人が参加しました。

富士見台小学校では、「鮎産卵のビデオテープ

環境モニターの活動

今年度の環境モニターでは、多摩川の植物図鑑を制作することを目的に、多摩川を中心とした観察活動を行う予定となっています。

第3回 多摩川の自然観察

9月3日に予定していた活動は、台風の接近により中止となりました。

10月1日の活動では、多摩川の河川敷と水際の植物観察を行いました。9月の台風に伴う増水で大きく様子が変わった水際には、歩くのも困難なほど生い茂っていた草本のみならず、ヤナギな

エコ・クッキングでエコな料理を体験

8月18日、東京ガスキッチンランド調布で、東京ガス株式会社のスタッフを講師に迎え、環境学習公開講座「Let's Try エコ・クッキング」を実施しました。

エコ・クッキングとは、東京ガス（株）が提唱しているもので、地球に暮らす私たち一人ひとりが、環境のことを考えて、「買い物」「料理」「片づけ」をすることです。

参加した12組の親子の参加者は、買い物から片づけまでに気を付けるポイントについて講義を受け

第1回多摩川の外来植物駆除～守ろう多摩川のいきもの～を実施しました

多摩川には様々な外来植物が生育し、在来の植物の生育環境が減ってしまいました。

一般社団法人生物多様性保全協会と調布市では、多摩川の生物多様性を保全するために、生態系に悪影響を及ぼす特定外来生物であるオオキンケイギクやアレチウリの駆除を8月27日に実施しました。

当日は、室内での特定外来生物の生物多様性に及ぼす被害や、生態についての説明の後、多摩川自然情報館付近の多摩川河川敷で駆除活動を開始しました。参加した28人で約1時間駆除を行い、アレチ

鑑賞」「多摩川クイズ」「水槽の魚の説明」「野鳥のスライドとお話」を行い、終了時に学校の池にいる鮎などの魚を水中カメラで観察しました。



8月 活動の様子

どの樹木がなぎ倒されるなど、大きく植生の状態が変わっている中での観察となりました。



10月 活動の様子

た後、実際にエコ・クッキングを体験しました。体験した参加者からは、「手軽なので家でもやってみたい」という前向きな意見も寄せられました。



公開講座の様子

ウリは約322kg、オオキンケイギクは約8kgを駆除できました。

参加者からは「思ったより大変だった」「楽しかった」「またやってみたい」などの感想をいただきました。

次回は11月3日(祝)午前10時から実施します。



活動の様子